



# やまなし

第83号 2013年7月13日(年3回発行)

## もくじ

1p	新年度の挨拶	8p	Welcome New Face
2p	平成25年度 役員挨拶	9p	理事会だより
5p	施設紹介	11p	各種申請書変更のお知らせ・広告
7p	身障だより		編集後記

## 新年度の挨拶

一般社団法人 山梨県作業療法士会  
会長 山本 伸一

平成25年度が始まり、2か月となった。会員の皆様には、それぞれの職場でご活躍されていることでしょう。急性期から回復期・生活期・終末期まで。そして就学から就労までの幅の広い作業療法。対象者に対する私たちの支援は、機能分化されたなかでチームとして発揮されており、欠かせない職種である。

昭和40年に「理学療法士及び作業療法士法」が制定されて50年近くなる。その期間、作業療法のあり方も変遷を遂げてきた。時代と共に。リハビリテーションという言葉も当たり前となってきた。また、近年は脳科学やロボットスーツ等も発達し、われわれの業界に導入されてきた。一方では、変わらないはずの作業療法の「核」。その根幹に新しい概念・手法が継ぎ足されていく。進化のある「未来」である。

各ステージ毎に作業療法士は配置されている。山梨県に限って言えば、回復期リハビリテーション病院の占める割合が大きい。このことは日本の特化した仕組みと云っていい。介護予防からターミナルまで、われわれに対する期待は計り知れない。日本から発信できる「作業療法」がこの国にある。

また、これまでは制度先導型であったかもしれない。しかし、これからは「私たち自身が未来を創る。」ことが求められている。そう思う。これには、それぞれの臨床における質の向上が最優先であるだろう。対象者に選ばれること。それが基本。

そのうえで一般社団法人山梨県作業療法士会は公益的な活動をさらに推進しなくてはならない。県民の皆様の医療・介護・福祉等の連携向上を踏まえた健康増進への寄与、そして社会的地位の拡大は今後の大きな課題である。各理事、そして会員と一丸となって邁進する所存でございます。

宜しくお願いたします。

### 「未来を創ろう」



## 平成 25 年度 役員挨拶

### 副会長 広田 真由美

作業療法士として山梨に就職し、今年で 26 年目となります。(定年まであと 13 年?)この間、県士会活動を通して多くの先輩や仲間と出会い、一社会人として大きく成長する機会となりました。今後も、医療・保健・福祉・教育の現場における作業療法士の職域拡大を念頭に置き、県士会副会長の職務を全うしたいと考えています。よろしくお願いいたします。



### 副会長 古屋 豊美

会員の皆様、こんにちは。副会長をさせていただいております、山梨厚生病院の古屋 豊美と申します。

山梨県作業療法士会が目指す理想の組織像と、会員が求める組織の在り方を擦りあわせ、フラットで見通しのよい士会にしていけたらと考えております。今後とも、士会事業への更なるご協力をどうぞよろしくお願い致します。



### 学術局生涯教育部担当理事 青木 栄一

皆さんご存じの通り、平成 25 年度 4 月に日本作業療法士協会 生涯教育制度の改定がありました。研修会シラバスが見直され、これからの研修会企画・開催にあたり、対応していきたいと思っております。当士会の会員数は 500 名を超える規模へと変わってきています。会員の皆様個人としてのスキルアップ、県士会としての更なる発展のため、理事として頑張ります。宜しくお願い致します。



### 学術局生涯教育部担当理事 有泉 宏紀

生涯教育部担当理事で市立甲府病院に勤務している有泉 宏紀です。生涯教育部は基礎研修を企画し開催しています。部員の頼もしい面々に助けられ、皆様が楽しく研修を受けられるようにサポートしています。研修会で顔を合わせることが多いと思います。その時は気軽に声掛けてください。今後もよろしくお願い致します。



### 臨時委員会・特設委員会担当理事 磯野 弘司

災害対策準備委員会は今年度 3 士会合同の委員会として、災害時の対応マニュアル作成および関係機関との連携を図っていきたく考えています。地域リハビリテーション委員会は各グループの活動を通じて公益・共益活動を推進し、地域貢献の一端を担っていける次世代の会員育成を行っていきます。皆様の積極的な参加をよろしくお願い致します。



**広報局担当理事 工藤 亮**

広報局を担当しております山梨リハビリテーション病院の工藤と申します。広報局は企画編集部（部員 10 名）とホームページ管理部（部員 3 名）より構成され、作業療法士会ニュースの発行（年 3 回）や県士会ホームページの管理・運営等を行っております。

今後も皆様からのご要望に応えられるような広報活動を実践してまいります。ご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。



**学術局学術大会運営部担当理事 佐藤 真一**

学術局学術大会運営部を担当しております佐藤 真一です。今年度もよろしくお願いいたします。第 6 回山梨県作業療法学術大会の担当理事として実行委員会と理事会の調整役としての業務をしております。

今回も 12 月 1 日（日）に山梨英和大学をお借りして開催いたします。是非とも多くの会員皆様の参加のもと、交流と研鑽、また熱い討論の場となりますよう準備しております。

**学術局企画研修部担当理事 白木原 法隆**

学術局企画研修部担当理事をしております、富士温泉病院の白木原と申します。新入職員の皆様は入職して約 3 ヶ月経ち、日々の臨床に研鑽されておられると思います。

学術局企画研修部では、会員の皆様に幅広くより新しい情報を提供できるように部員一同取り組んでおります。なにぶん不十分な点多々あると思いますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。



**常設委員会担当理事 関谷 宏美**

“作業療法士は未知なる可能性がある” そう感じるが増えています。人の苦痛を和らげること、人の能力を引き出すこと、人と人を繋げること、そして人を笑顔にすること。高齢者が増え、子供が減少し、変化のスピードが増している今の社会に欠かすことができないものです。

訪問リハ、福祉用具、特別支援教育、そして倫理、この 4 つの切り口から作業療法を磨いていきたいと思ひます。

**制度対策局担当理事 長坂 真由美**

昨年度より、制度対策局へ名称を変更し、保健福祉分野の情報収集の充実を図る為、保健福祉部を配置しました。また、県士会HPに、協会保険対策委員会からの情報配信をほぼ毎週掲載しています。医療・介護保険、保健福祉分野の各種制度を巡る世の中の流れを、なるべく最新の状態でお届けできるよう部長をはじめ部員が活動していますので、ぜひ、県士会HPをご覧ください。



**社会局担当理事 松田 智子**

社会局の渉外部と事業部の担当をさせて頂いております。部長の前田さん駒谷さんを中心に各部員さんの協力で事業が行われています。いろいろな場での、人との出会いが人を成長させてくれると思っています。

私自身、部会や理事会でいろいろな方のお話を聞くことで学ぶことがとても多いです。ありがとうございます。会員の皆さん県士会活動を一緒にやって行きましょう！



**事務局担当理事 三瀬 和彦**

事務局担当の三瀬です。事務局は、管理部・財務部・福利厚生部と3つの部で構成され、主な活動内容として、理事会・総会の運営、管理部は会員管理、財務は会計・税務管理、福利厚生は会員の福利体制の整備や懇親会の企画運営等となっております。各部長・部員、会員の皆様のご協力のもと、県士会活動に取り組みますので、引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。



**監事 川崎 加代**

現在は、精神の福祉分野で働いています。自立訓練(生活訓練)、グループホーム、ショートステイの事業を行っています。地域で暮らしている方々が、生きやすく過ごせるように、“Aging in place”(馴染み、安心の場所で歳を重ねる)を考えている所です。法人になり、更に、社会における責任、役割を持って、日々の活動を充実させましょう。学術大会宜しくお願いします。





## 施設紹介

小澤こころのクリニック

柿崎 崇

私が勤務する『小澤こころのクリニック』は平成25年4月に甲州市塩山に開院しました。当院は外来診療と小規模デイケアを併設する県内初めてのクリニックです。

近年はうつ病をはじめとする心の不調を抱える患者様が增加しており、厚生労働省では、平成25年度より医療計画の重点的に施策すべき疾患に、従来の「ガン」「脳卒中」「心筋梗塞」「糖尿病」に、「精神疾患」を新たに加えました。統計によると、精神疾患の罹患者数は、糖尿病の237万人をはるかに上回る323万人にも及んでいます。

そんな社会背景の中、当院では...

うつ病診療・地域の心の健康増進に貢献する。

気軽に足を運んでもらえるような暖かな雰囲気を作り、患者様の心に寄り添えるような対応に努める。

一人一人の状況に合わせた支援を展開し「リカバリー」を目指す。

デイケアを併設し、うつ病で休職中の方のリワーク支援や精神疾患をお持ちの方の就労支援を行う。

上記の内容に力を入れて、医療を展開しています。

デイケアには、医師・作業療法士・精神保健福祉士・看護師が常勤し、1日平均10名ほどの利用者様の支援を行っています。デイケアでは上記内容にも記したように『働くことを応援します！』をテーマとして日々の支援に取り組んでいます。一言に『働く』といっても支援の内容は多岐にわたり、認知機能のトレーニングをはじめ、職業準備性を高めるための生活リズム、社会性、持久力・体力の獲得、実際の職場での対応方法や企業主との連携など、その方の段階に応じて支援の内容も変わってきます。

就労支援を通して直接実感することが出来たのは、一般企業には精神障害者の雇用に対しての積極性があるということです。一般的には消極的な企業が多いと思われがちですが、雇用拡大のために奔走されている企業も増えており、対象者への現場での作業手順の指導方法や支持的介入方法など、作業療法士としての支援が企業側からも求められることが多くなってきています。実際の現場では、生産性や効率を求められることも多々ありますが、昭和30～50年代頃の日本のような、生産性は確保しつつもどこか緩さを持ち合わせた労働環境を再構築したいと志を抱いている企業が増えています。時代背景として、近年「職業連結性うつ病」という言葉をよく目にするようになりました。大規模なマーケティングに対応するため、効率性を求められるあまり、心の豊かさを無くしてしまっている労働者が急増しています。そういった労働環境の中、うつ病を発症する人も増加している印象を受けます。また、平成25年4月より障害者の法定雇用率が引き上げられたことにより、今後、支援対象者と企業両者からの就労支援のニーズが増えてくることが予想されます。当デイケアでは様々なニーズに対応できるよう支援体制を強化していきたいと考えています。

当院は開院して半年足らずですが、新しい職場で、様々な職種と同じ環境で働くことでさらなるOTとしての成長が出来るのではないかと感じています。他職種の中で働くことは、今まで当然と思っていたことが通用しなかったり、逆に新しい視点を得る機会に恵まれることが多かったりと、刺激的です。これからも多くの職種と交流を図り、たくさんの方々に作業療法の専門性を伝えるとともに、自らの見識を深められるよう自己研鑽を怠らないようにしたいと思います。

また、当デイケアでは障害者のフットサル活動にも力を入れており、週1回プログラムに組み入れ、デイケアに隣接された人工芝のグラウンドにてみんなで汗を流しています。将来的には全国大会へ!?を目標に掲げて地道に取り組んでいます。

精神疾患に罹患すると、身体機能にも影響を及ぼすことが多く、心と身体の両面にアプローチし、対象者のリハビリを促進する必要があります。Soccer practice as an add-on treatment in the management of individuals with a diagnosis of schizophrenia.( Battaglia G ,Alesi M , Inguglia M : 2013 ) には、統合失調症患者へのサッカー活動が部分的な追加治療効果や自己管理について有効であると記されています。様々な身体運動の精神疾患への有効性は周知の事と思いますが、集団特性を持ち合わせたフットサル活動を継続して行っていくことで、身体機能に加えたコミュニケーション能力への治療効果を期待しています。

最後になりますが、当院のHPと施設内の写真をご紹介します。HPには各スタッフのブログやクリニックからのお知らせなどを更新しています。ぜひご覧ください。

HP : <http://www.ozawakokoro.jp/>



人工芝のグラウンド

待合室



DC室2階 ロフト

## 身障だより

甲府脳神経外科病院  
河野 拓也



甲府脳神経外科病院は甲府市酒折にあり、急性期の脳血管疾患を中心とした病院で、病床数は現在60床です。患者様から喜ばれるために、「いつも新しく一步前へ」を病院理念とし、日々患者様に関わらせて頂いています。当院は、地域医療のため、24時間救急患者様を受け入れています。外科的治療、t-PAによる脳梗塞の治療、PETによる癌検診等の医療、検診が当院の特徴としてあげられます。

また、昨年は当院院長が、「早期認知症学会」の大会長をつとめ、山梨で学会が開催されるなど、認知症に対しても積極的に取り組んでいます。

リハビリテーション科のスタッフは、PT4名、ST2名(1名は育児休暇中)、事務1名、そしてOT1名です。OTでは外来リハビリは行っておらず、入院患者様のみ実施しています。当院では、PT、OT、ST(個室)が同じ訓練室で行っているため、他のセラピストの治療場面を見ることができ、患者様の状態を把握することや、情報交換がしやすくなっています。

当院は急性期の病院なので、状態を確認しながら、発症当日～数日以内と早期からリハビリを開始しています。患者様は軽症の方から、重症の方まで幅広く、自宅復帰率は約50%です。約半分の方は、リハビリテーション専門の病院、施設へと転院していきます。患者様の平均在院日数は2～3週間なので、患者様の入れ替わりは多いです。その為、長い期間継続して関われない事は、残念に思います。

当院ではOTは一人な為、限られた数の患者様にしかOTを実施出来ていませんが、PT、STの協力を得ながら、なるべく多くの患者様に実施出来る様になっています。患者様の声に耳を傾け、少しでも患者様の生活を変えていけるような作業療法を提供できるように、これからも努力していきたいです。



# WELCOME NEW FACE!!

氏名	所属施設	氏名	所属施設
宮城 大樹	石和温泉病院	堂本 尚貴	甲府城南病院
田口 美緒	石和温泉病院	野沢 健	甲府城南病院
池谷 陽平	石和温泉病院	山根 寿美	甲府城南病院
渡辺 麻美	石和共立病院	依田 友希	国立病院機構甲府病院
藤本 結香	石和共立病院	清水 志保	巨摩共立病院
原田 実由	石和共立病院	有泉 沙貴	しもべ病院
栗田 淳	石和共立病院	清水 優香里	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーションクリニック
加藤 達也	一宮温泉病院	渡邊 紀彦	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーションクリニック
小畑 紗絵香	一宮温泉病院	中嶋 佳苗	笛吹中央病院
小澤 里沙	塩山市民病院	宮川 万璃	笛吹中央病院
大澤 綾子	日下部記念病院	岩崎 友里佳	富士温泉病院
上野 知香	日下部記念病院	井伊 真奈美	富士温泉病院
佐藤 正人	恵信甲府病院	佐藤 将人	富士温泉病院
虎尾 健司	健康科学大学リハビリテーションクリニック	深澤 太郎	株式会社 山梨福祉総研
石原 卓	甲州リハビリテーション病院	渡邊 洋平	山梨県立北病院
鈴木 紀香	甲州リハビリテーション病院	小林 克也	山梨県立中央病院
洞澤 啓輔	甲州リハビリテーション病院	稲葉 峻太	山梨厚生病院
三木 典子	甲州リハビリテーション病院	相川 浩貴	山梨リハビリテーション病院
望月 康宏	甲州リハビリテーション病院	田中 聖浩	山梨リハビリテーション病院
依田 剛	甲州リハビリテーション病院	武井 果菜	山梨リハビリテーション病院
市川 真由美	甲府城南病院	武井 裕子	山梨リハビリテーション病院
竹田 汐里	甲府城南病院	小池 俊輔	竜王リハビリテーション病院

(敬称略・順不同)

\*この会員情報は、平成25年1月31日～平成25年6月20日現在の事務局情報を基に作成しています。



## 理事会便り

### 一般社団法人 山梨県作業療法士会

#### 2012年度 第11回 理事会議事録

日時：平成25年1月30日(水)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、三瀬、佐藤、長坂、宇野、松田、青木、工藤、関谷、白木原、川崎；12名

#### 1. 副会長(広田・古屋)

1)平成25年1月18日(金)脳卒中連携パス協議会に広田副会長が出席。

#### 2. 事務局(三瀬)

1)甲府市より自立支援給付認定審査委員会委員の推薦について受託、広田真由美(石和温泉病院)と久保田好正を推薦。

<管理部>

1)会員数472名(平成25年1月30日現在)

<財務部>

1)平成25年度事業計画・予算案及び平成24年度決算について報告。

<福利厚生部>

1)新年会

日時：平成25年1月23日(水)

会場：ホテルクラウンパレス甲府

参加者：142名

#### 3. 学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

<企画研修部>

1)第5回企画研修部研修会

日時：平成25年1月20日(日)

会場：山梨県立青少年センター 多目的ホール

テーマ：生活行為向上マネジメント～その人にとって意味のある“作業”に焦点を当てた支援～

講師：土井勝幸氏(医療法人社団東北福祉会 介護老人保健施設せんだんの丘施設長)

参加者：100名

<学術大会運営部>

1)第6回学術大会の日時を平成25年12月1日(日)に変更。会場は検討中。

#### 4. 常設委員会(関谷)

<福祉用具委員会>

1)第2回福祉用具委員会主催研修会

日時：平成25年1月17日(木)

会場：山梨県立介護実習普及センター

テーマ：福祉用具支援「移乗・実践編」

### 一般社団法人 山梨県作業療法士会

#### 2012年度 第12回 理事会議事録

日時：平成25年2月18日(月)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、三瀬、佐藤、長坂、宇野、松田、青木、工藤、磯野、有泉；11名

#### 1. 会長(山本)

1)3士会合同意見交換会

日時：平成25年2月13日(水)

出席者：山本会長、広田副会長、古屋副会長、三瀬事務局長

#### 2. 副会長(広田・古屋)

1)平成25年2月16日(土)都道府県作業療法士会連絡協議会、平成25年2月17日(日)都道府県作業療法士会支部長会議に広田副会長が出席。

#### 3. 事務局(三瀬)

1)韮崎市より自立支援給付認定審査委員会委員の推薦について受託、三瀬和彦(甲府城南病院)を推薦。

#### 4. 広報局(工藤)

<企画編集部>

1)広報ニュース82号から紙質をカラーに変更。

#### 5. 学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

日時：平成25年2月17日(日)

会場：山梨県立青少年センター

テーマ：事例検討・事例報告

参加者：73名 発表者：22名

#### 6. 常設委員会(関谷)

<倫理委員会>

1)臨床倫理に関するワークショップ

日時：平成25年2月7日(木)

会場：山梨県立図書館

テーマ：サービス提供の視点

～福祉用具レンタルに関する倫理～

講師：中村雄(健康科学大学)

中野真由美(湯村温泉病院)

海野寿美(甲州リハビリテーション病院)

関谷宏美(甲州リハビリテーション病院)

参加者：26名

<特別支援教育委員会>

1)平成25年1月30日(水)に障害児授産施設「ともしび」へ見学。

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2012年度 第13回 理事会議事録

日時：平成25年3月19日(火)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、長坂、宇野、松田、青木、関谷、磯野、白木原、有泉、工藤；13名

1. 会長(山本)

1)平成25年3月17日(日)一般社団法人山梨県理学療法士会 記念式典に出席。

2. 副会長(広田・古屋)

1)平成25年3月8日(金)健康科学大学卒業式に古屋副会長が出席。

3. 事務局(三瀬)

1)日本作業療法士協会「訪問リハビリテーション地域リーダー教育会議」への参加依頼を受託、前田哲(甲州リハビリテーション病院)を推薦。

<管理部>

1)会員数472名(平成25年3月19日現在)

4. 臨時委員会(磯野)

<災害対策準備委員会>

1)研修会

日時：平成25年3月4日(月)

会場：甲府市総合会館

テーマ：災害医療総論・リハビリ病院が災害時に何を求められるか

講師：松田潔氏(日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター センター長)

テーマ：山梨県の災害医療・東日本大震災での経験

講師：岩瀬史明氏(山梨県立中央病院 救命救急センター科長)

参加者：理学療法士61名、作業療法士116名、言語聴覚士21名(他看護師等3名)

5. 特設委員会(磯野)

<地域リハビリテーション委員会>

1)平成25年3月3日(日)、リーダー会議を開催。

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第1回 理事会議事録

日時：平成25年4月25日(木)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、長坂、松田、青木、関谷、磯野、白木原、有泉、佐藤、工藤；13名

1. 会長(山本)

1)平成25年4月3日(水)健康科学大学入学式に出席。

2. 副会長(広田・古屋)

1)平成25年3月22日(金)健康長寿やまなし推進本部リハビリテーション部会に古屋副会長が出席。

3. 事務局(三瀬)

1)日本作業療法士協会より協会表彰者決定について受託、功労表彰者：加藤智也、石井孝弘、貫井信幸

<管理部>

1)会員数493名(平成25年4月25日現在)

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第2回 理事会議事録

日時：平成25年5月24日(金)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、長坂、松田、青木、関谷、白木原、有泉、佐藤；11名

1. 事務局(三瀬)

1)山梨県リハビリテーション病院施設協議会総会に平成25年5月17日(金)三瀬事務局長が出席。

<管理部>

1)会員数417名(平成25年5月24日現在)

2. 学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

<企画研修部>

1)第1回企画研修部研修会

日時：平成25年5月11日(土)

会場：笛吹市スコレーセンター 集会室

テーマ：作業療法の目的と手段～介護保険を中心とした生活行為向上と認知症支援～

講師：浅野有子氏(医療法人八峰会 池田病院 介護老人保健施設 涼風苑)

<学術大会運営部>

1)平成25年5月2日(木)演題募集要項を発送。

3. 常設委員会(関谷)

<訪問リハビリテーション委員会>

1)平成25年5月16日(木)・17日(金)に日本作業療法士協会 訪問リハビリテーション地域リーダー教育会議に前田哲(甲州リハビリテーション病院)が参加。

<特別支援教育委員会>

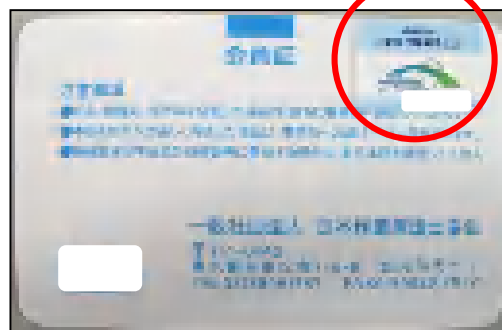
1)山梨県特別支援教育強化事業において作業療法士が1名採用となった。

2)山梨県相談支援事業において地域支援コーディネーターより相談・依頼があり、今後委員会として対応していく。

## 一般社団法人 山梨県作業療法士会 会員シールの取り扱いについて

入会申請書及び会費の納入が確認された正会員に「会員シール」を発行しております。「会員シール」は、日本作業療法士協会会員証裏面に貼付（下記参照）し、士会主催の学会および研修会等に参加する場合は、必ず提示して下さい。

なお、「会員シール」の再発行は行っておりませんので、本証を紛失されないようご注意ください。



### 一般社団法人 山梨県作業療法士会会員手続きについて

#### 入会について（会員の構成）

1. 正会員 一般社団法人日本作業療法士協会の正会員である者で、山梨県内に常勤または在住し、当法人の事業に賛同して入会した個人（作業療法士対象）
2. 賛助会員 当法人の目的に賛同し、事業を賛助するために入会した個人または団体
3. 名誉会員 当法人の事業に顕著な功勞のあったもの又は学識経験者

**いずれも理事会での承認が必要となります。特に賛助会員に関しては、賛助内容を明確に提出して頂き、理事会にて検討させていただきます。**詳細につきましては、一般社団法人山梨県作業療法士会定款「第二章 会員」をご覧ください。

#### 会員手続きについて

各種申請書（入会申請書／登録変更届／休会・復会届／退会届）を当士会ホームページからダウンロードして頂き、事務局 管理部まで郵送またはFAXにてご連絡ください。特に、変更届については、変更があり次第ご連絡頂きますようお願いいたします。

#### 連絡・送付先

一般社団法人 山梨県作業療法士会 事務局 管理部  
〒400-0831 山梨県甲府市上町753-1  
甲府城南病院 リハビリテーション部 作業療法科内  
FAX：055-241-8660（代）  
TEL：055-241-5811（代）

現代の医療・福祉・心理の専門家をめざす



**健康科学大学 10th**  
HEALTH SCIENCE UNIVERSITY

健康科学大学 10th Anniversary  
健康科学大学 10周年記念事業

<http://www.keikoudai.ac.jp>

〒400-0292 山梨県甲斐市万才287 TEL 055-276-1155

SAKAIPOD

標準感力計 モービー



標準感力計の高スタンダード  
サンプルのみを高機能、更に安心価格で御出し

感力計 (10kg・5kg・2kg・1kg)  
圧力計 (10kg・5kg・2kg・1kg)




2013.07.05(水)




2013.07.05(水)

唯一の標準感力計 標準感力計  
SAKAIPOD MOBIE FORCE METER  
www.sakai-pod.com

 編集後記

今年もジャガイモを植えてみましたが、収穫は小さいのばかり……。雨が少ないのが影響したのかな(米)

半夏生というのを初めて知りました。あつというまに折り返し……。(内)

最近、「ムッチリしてきたね。」と言われました。去年から+3Kg。……。痩せようと思います。(今)

ある人に薦められた映画「西の魔女が死んだ」を観て、素敵な関わりをしている魔女だなぁ。と感動しました。まだ観てない方、おススメです。(ふ)

最近、タニタのアイスにハマってます。100Kcalなので、夏シボりたい人にはもってこいですよ。(カ)

バス釣りにハマって休みの日が待ち遠しい!!この趣味いつまで続くんでしょう?(土)

H25年度、初めの広報誌です。カラーになり見やすくなったかと思えます。内容もより良いものにしていきたいと思っています。ご意見などありましたら、ぜひ企画編集部までお寄せください。(飯)

夏になりました。さっそくキャンプに行ったら大雨に……。雨男??(つ)

記録的猛暑ですが、夏バテせずに乗り切りましょう。(く)

発行人：山本 伸一

編集人：工藤 亮・飯野 知一・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香・今泉 隼・精進 智規・金田 勇一

発行所：一般社団法人 山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

しらゆり訪問看護ステーション 〒400-0114 山梨県甲斐市万才287 TEL 055-276-1155

FAX 055-279-1262

印刷所：(株)島田プロセス 〒409-3867 山梨県中巨摩郡清水新居1534 TEL 055-233-8829